

2022年7-9月期GDP2次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:籾田健二)は、内閣府より12月8日(木)に公表予定の2022年7-9月期のGDP速報(2次QE)について予測を行いました。
2022年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.3%(年率▲1.3%)と予測します。

2022年7-9月期の実質GDP成長率は、季調済前期比▲0.3%(年率▲1.3%)と、1次速報値(同▲0.3%(年率▲1.2%))からほぼ変更なしを予測する。

民間企業設備投資は、1次QE時点の季調済前期比+1.5%から同+1.2%と、下方修正を予測する。法人企業統計調査における7-9月期の設備投資は製造業を中心にやや下振れ、1次QE時点の推計値を下回ったとみる。公的固定資本形成は、2022年9月の公共工事出来高の上振れを受けて、同+1.3%と小幅の上方修正を予測する。

なお、12月8日に公表される2次QEには、2021年度国民経済計算年次推計の結果が反映される。過去系列の改定や季節調整のかけ直し等も行われるため、実績も含めて大幅に変更される可能性がある。

図表 2022年7-9月期GDP2次速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比 (%)		2022年	2022年	1次QE比 修正幅 (%ポイント)
		7-9月期 1次QE実績	7-9月期 2次QE予測	
実質GDP		▲0.3 (▲1.2)	▲0.3 (▲1.3)	0.0 (▲0.1)
	季調済前期比年率			
民間最終消費支出		0.3	0.3	0.0
民間住宅		▲0.4	▲0.4	0.0
民間企業設備		1.5	1.2	▲0.3
民間在庫変動	寄与度	▲0.1	▲0.1	0.0
政府最終消費支出		0.0	0.0	0.0
公的固定資本形成		1.2	1.3	0.1
財貨・サービスの輸出		1.9	1.9	0.0
財貨・サービスの輸入		5.2	5.2	0.0
内需	寄与度	0.4	0.4	0.0
民需	寄与度	0.3	0.3	0.0
公需	寄与度	0.1	0.1	0.0
外需	寄与度	▲0.7	▲0.7	0.0
名目GDP		▲0.5 (▲2.0)	▲0.5 (▲2.1)	0.0 (▲0.1)
	季調済前期比年率			
GDP デフレーター	前年同期比	▲0.5	▲0.5	0.0
国内需要 デフレーター	前年同期比	3.0	3.0	0.0

出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 菊池紘平 堂本健太
電話:03-6858-2717 メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
メール:media@mri.co.jp
